



2006~2007年度
国際ロータリーのテーマ
率先しよう
2006~2007年度
ウィリアム・ビル・ボイド

Weekly Report

創立: 1980年(昭和55年)1月10日
会長: 遠山 堯郎
幹事: 天野 正明
会報委員長: 稲垣 豊
例会日: 毎週木曜日 PM12:30~
会場: ヒルトン名古屋
事務局: 460-0008
名古屋市中区栄1丁目33
ヒルトン名古屋910号
TEL: 052-211-3803
FAX: 052-211-2623
MAIL: 2760nagoya@mizuho.rc.jp
URL: http://www.mizuho.rc.jp/

第1280回例会

2006年7月13日(木) 晴 第2回

司会: (渡辺喜代彦会場副委員長)
斉唱: 「我等の生業」

会長挨拶

遠山堯郎会長



7月10日、ワールドサッカー・ドイツ大会はイタリアが優勝して終了しました。第一回大会は、1930年に南米のウルグアイで開催・参加国はわずか13か国。今回の第18回大会のドイツ大会に、日本は3大会連続3回目の出場でした。4年前、カナダで開かれたサミットのすぐ後に、横浜でブラジル対ドイツの決勝戦がありました。サミットに出席していた当時のドイツのシュレーダー首相が、応援のために小泉総理と一緒に日本の政府専用機で、カナダから日本へ飛んできました。私はサッカーのルールがよく判りませんが近年のサッカーファンが多くなったことに驚いています。ワールドサッカー賞金ですが、今回のドイツ大会の優勝チームに贈られる賞金は、なんと約22億円だそうです。準優勝チームには20億7千万円、ドイツの3位と、ポルトガルの4位には19億8千万円ずつが贈られます。FIFAが本大会出場32チームに支払う総額は300億円だそうです。今回の本大会に出場するだけで、チームは最低でも約6億4千万円を頂けるそうです。ドイツ大会の一般向けチケットは、カテゴリー1から4の4段階に別けられていて、最高金額は、決勝戦のカテゴリー1で、日本開催の決勝戦とほぼ同じ値段の、約8万4千円です。決勝戦の最低金額はカテゴリー4の約1万6800円だったそうです。日本大会より1万7200円安いそうです。最後に心寂しい話ですが、日本代表のジーコ監督は「個のチーム」づくりで頑張りましたが負けました。日本代表選手と帰国後、翌日ブラジルへ帰国してしまいました。連盟の川淵会長からジーコ監督に「ご苦労さまでした」の挨拶会見もないようでした。連盟会長は2010年南アフリカ大会に向けてオシム監督就任を失言し、事実となりました。ジーコはトルコの有力クラブの監督に就任しました。

スポーツを含めて日本は、新渡戸稲造ではありませんが何事においても武士道の世界だと思えます。そして最近日本人文化の何処かが間違っている気がしてなりません。

幹事報告

天野正明幹事

- ・本日13時35分より第1回理事会及び第1回クラブアッセンブリーです。6階「けやきの間」です。関係各位はご出席下さい。クラブアッセンブリーは委員会報告をお願いします。また、理事会では決算及び予算を審議する重要な会議です。皆様のご協力をお願い致します。
- ・次週7月20日(木)は第1回クラブフォーラムです。決算・予算の件です。皆様のご出席をお願いします。

出席報告

八木沢幹夫出席委員長

会員72名 出席53名 (出席計算人数53名)

出席率78.58% 7月6日は補填により84.91%

臨時例会変更のお知らせ

名古屋西	7/27(木)		8/17(木)※
名古屋南		8/2(水)	8/16(水)※
名古屋東			8/14(月)※
名古屋守山	7/26(水)		8/9(水)※ 8/16(水)※
名古屋みなと	7/28(金)		8/11(金)※
名古屋東南	7/26(水)		8/16(水)※
名古屋中	7/24(月)		
名古屋和合			8/16(水)※
名古屋名東		8/1(火)	8/15(火)※
名古屋名北			8/16(水)※
名古屋千種			8/8(火) 8/15(火)※
名古屋大須			8/10(月) 8/17(木)※
名古屋栄			8/7(月)◆ 8/14(月)※
名古屋名南			8/15(火)※
名古屋名駅			8/16(水)※
名古屋昭和			8/7(月) 8/14(月)※
名古屋西南			8/10(木)※
名古屋錦			8/15(火)※
名古屋東山			8/17(木)※
名古屋空港		7/31(月)	8/14(月)※
名古屋清須	7/25(火)		8/15(火)※
尾張中央	7/26(水)		8/16(水)※
豊山一城北	7/25(火)		8/15(火)※

(注) ※は休会・その他理由につきビジター受付はありません。
◇はサイン受付時間が17:30~18:30となります。
◆はサイン受付時間が17:00~18:00となります。

名古屋昭和RCメールアドレス変更のお知らせ

8月1日より下記のとおりメールアドレスが変更になります。
nagoya-showarc1992@biscuit.ocn.ne.jp

ニコボックス

八木沢幹夫ニコボックス委員長

- ・7月31日は79回目の誕生日です。 **鈴木 圓三君**
- ・八木沢ニコボックス委員長ガンバレ! **渡辺喜代彦君**
- ・新年度の第1週を欠席致しましたので。 **西本 哲君**
- ・本年度第1回例会欠席しました。遠山会長、天野幹事の門出をお祝いして。今年度S.A.Aを務めます。皆様のご協力お願い申し上げます。 **大島 浩嗣君**
- ・アキレス腱炎で足が痛いです。誰か助けて下さい。

- ・ **内田 久利君**
- ・娘がお盆に東京から会いに来るそうです。女房が喜んでます。 **入山 治樹君**

委員会・同好会報告

社会奉仕委員会：田口豊委員長

名古屋南RCから、名古屋市内のロータリークラブの幹事宛に案内が届いておりますのでご紹介致します。

「名古屋観光ホテルを例会場とする、名古屋RC、名古屋中RC、名古屋南RC3クラブが共同で名古屋観光ホテルにAEDを寄贈する」

と言うことです。なにかあった時のためにも、AEDを設置してはどうかと地区社会奉仕委員会でも話題に上っており、今回の件はその一環であります。ご承知おき下さい。

R情報委員会：守谷巖樹委員長

昨年度委員長の大島さんより引き継いだR情報委員ですが、主にロータリーの友、ガバナー月信のご案内を致します。ロータリアンの義務は出席と雑誌の購読となっております。すでにロータリーの友7月号が皆様のお手元にあると思いますが、ぜひとも購読の「読」の方をお願いしたいと思います。

卓話

足立謙祐君

「大和とその戦歴」

皆様こんにちは。今年4月6日、会員の宗宮先生が戦艦大和の性能、建造面について精密なスライドを用いて詳しくお話されました。私の今日の話は、その戦艦大和がどうなったか、どのような活動をしたかについて、太平洋戦争全般に関連してお話を致します。まず初めに戦艦大和の戦果がありますが、ほとんどゼロであると言っても



過言ではありません。当時の日本海軍の司令部が使い方を間違えてしまったためです。使うべき所で使えば大きな戦果を上げたはずで、昭和16年に真珠湾を攻撃して戦争が幕を開け、フィリピンやインド洋で戦果を上げ、破竹の進撃を続けました。そしてガダルカナルへ進出していきました。当時の日本軍には世界に誇るものがありました。それは魚雷です。射程距離や爆発力では世界の中で群を抜いておりました。アメリカはこの魚雷を「ブルー・キラー（青い殺人者）」と呼んで恐れ、レーダーを駆使して対抗しました。この時の戦いを両国ともどのように見たかと申しますと、アメリカは「これは戦争の山場である。全力を持って戦わなければならない。」とし、出来上がったばかりの軍艦を次々と投入してきました。

一方日本は、海軍司令官の山本五十六が大和を率いて出撃するとした記述も残されておりますが、幕僚達が「帝国海軍の象徴である大和を傷つける訳にはいかない」「司令長官が戦死をされたら全軍の士気に関わる」などと反対をしたといわれております。戦艦を投入したものの、大正時代に建造された速度は速いが装甲があまり頑丈でない、攻撃力の劣る巡洋戦艦を2~3隻出撃させました。それなりに奮闘はしましたが、同じダメージを受けても耐えうるすべはなく、2隻の犠牲をだし、あえなく敗れ去りました。アメリカ軍も損害を受けましたが、頑丈に作られておりましたので沈没する事はありませんでした。その頃から日本海軍は押され気味の戦局となり、勝利を収めたことはありませんでした。それでも日本軍は日露戦争時のバルチック艦隊を全滅させた対馬海戦を模範としていました。事実戦局はその通りに進みました。ですが20数年前と比べソフトやハードの面では大いに異なっていました。主力は航空機へと移り、レーダーも性能が良くなり飛び立った戦闘機の7割は撃ち落とされました。潜水艦も投入され、水中からの攻撃には全くの無防備でした。結果、マリアナ沖海戦は惨敗に終わりました。その中でももっとも悲劇的であったのが大型空母「大鳳」であります。客船を改造するなどして作られた数ある空母の中で、正規空母として作られました。先のミッドウェー海戦で航空機爆撃による甚大な被害が出たのを受け、装甲甲板を施すなどあらゆる備えを十分にして出撃しました。しかしまぐれ当たりの魚雷が1発だ

け命中しました。通常であれば戦闘に差し支えはありませんが、航空母艦は燃料を大量に積んでおり、そこにひびが入ってしまいました。そして気化したガソリンが格納庫内に充満し、それに引火し大爆発を起こしました。これで勝負は決着しました。いろいろな面で劣ってはいましたが、その上ツキにも見放されたとあっては勝ちようがありません。そこで降参をしていればその後の悲劇は起こらなかったであろうと思われます。

なぜ日本人はこの「大和」という軍艦にノスタルジーを感じるのでしょうか？軍艦は大和の他に「武蔵」というほぼ同型の戦艦が作られました。ですが「武蔵」はフィリピン沖で空前絶後の損害を受け炎上、沈没しました。その時「大和」は軽傷で済みましたが、そこでさらに温存することになりました。そして戦局は最後のところまで進み、普通の人でも戦局の悪化は明らかでした。それから何を思ったのか、本土から沖縄まで無事到着し、そこで主砲をうち、上陸軍を撃滅させようとした。ですが相手は空中から海中に至るまで、ありとあらゆる所に網を張り巡らせており、沖縄に向かう途中で、アメリカの爆撃機に攻撃され、鹿児島県坊ノ岬沖で大爆発を起こし、海中に沈みました。

大和はいまだに愛着を持って語り継がれておりますが、少し不思議な感じがします。「大和」と同型の「武蔵」がフィリピン沖で交戦し、アメリカの軍艦を沈めて戦果を上げているにもかかわらず、この扱われ方の違いには少々不公平なものも感じます。「武蔵」が遠い異国の海で沈んだのに対し、「大和」は日本近海で沈んだというのが身近に感じられるということなのでしょう。

日本はアメリカと戦争をしてどうして負けたのか、どの兵器によって手ひどくやられたのかと申しますと、日本を焼け野原にしたB29でもなければ、日本海軍を壊滅させた空母機動部隊でもありません。もちろん原子爆弾でもありません。何かと申しますと潜水艦によってです。輸送船やタンカーを守るということをさほど重要と考えてはいなかったようです。日本は四方を海に囲まれた島国であったため、鉱物資源や石油などを南方の島々から運び込んでいました。そしてその時は兵員や兵器、生活物資などを積んで出撃していきます。そういった船のうち、ほとんどが沈められてしまいました。なぜそうしたことを途中で防ぐことが出来なかったのでしょうか。理由としては日本の科学力が劣っていたという点に問題があると思います。潜っている潜水艦を見つけることが出来ず、下からの攻撃と、上からの爆撃とで全滅を余儀なくされました。こういったことはイギリスでも起こったことですが、持ち前の科学力と合理的精神と、アメリカの大工業力をバックにドイツの潜水艦「Uボート」を逆に撃滅することが出来ました。日本はそういったことをする技術がなく、最後まで手をこまねいて悲劇をむかえることとなりました。

他にもアメリカは、飛行機エンジンの能力が大変高かったり、戦力である兵士の人命を第一に考え、B29爆撃機などを出撃させるなどしても、撃墜された時のことを考えて潜水艦が配備されていたと言います。ですからアメリカの操縦士は出撃の際にも、必ず救出してくれるだろうという気持ちで赴いたと思われ。それに引きかえ日本は戦闘能力の高い、優秀な人材を大勢亡くしてしまいました。

終戦をむかえ、今あらためて日本に必要な装備を考えますと、音波で敵機を見つけるソナーなどです。今では魚群探知機としてほとんどの漁船が装備しています。小さな魚の群を見つけることが出来るのですから、大きな潜水艦を見つけることは造作もなく、被害を未然に防ぐことが出来たと思います。日本ほど終戦後、ものの考え方や価値観、技術力が大きく変わった国は、世界を例にとってもないと思います。

今週行事

7月20日(木)

第1回CF(決算・予算)

次週卓話

7月27日(木)

卓話講師：花水木工房 施設長 中尾謙二氏

テーマ：「精神障害者が地域で暮らしていくために」